

明大商学部特別講義

レポートからみる啓発活動の課題

～「プラスチックのイメージアップに向けて」～
(中間報告)

平成27年7月16日

日本ポリエチレン製品工業連合会

顧問 戸上宗久

はじめに

- 「プラスチック」は他の素材に比し、誕生してから高々100年であり、正しい知識の浸透は必ずしも十分とは言えず、安全性等に関する経験値も小さいことから、悲観的な要素に対し過剰に反応してしまう傾向が強い
- 「プラスチックの啓発活動」においては、プラスチックがどのようにイメージされているかを審らかにし、課題を抽出し、「敵を知り、己を知る」ことがポイントとなる

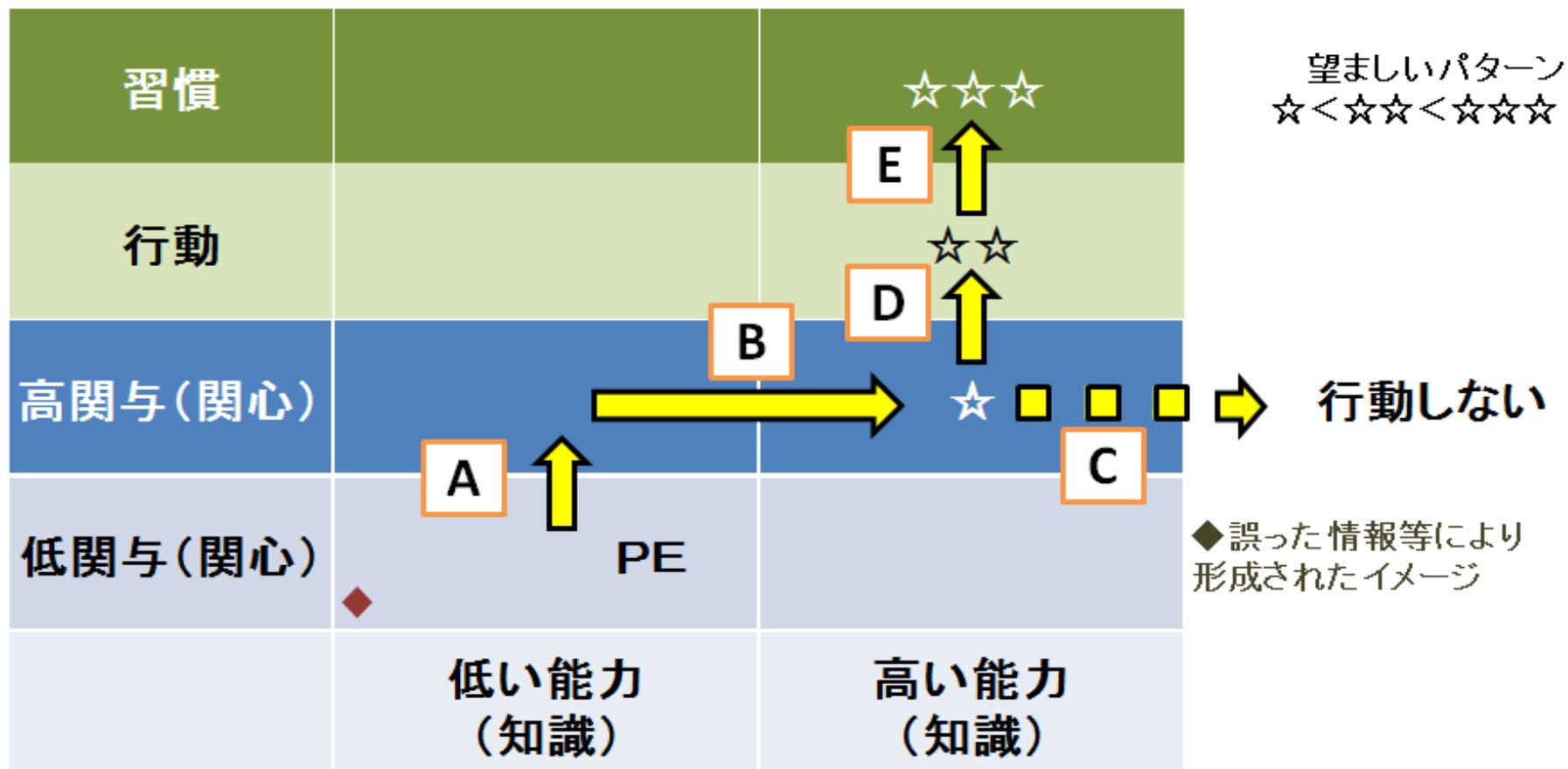
- 明治大学商学部で、プラスチックに関する特別講義をさせていただいているので、2011年からは、講義の事前アンケートを行い、講義後レポートを提出してもらい、「プラスチックに関するイメージ」を抽出、講義（ある種啓発活動）によりどのように意識変化が生じたのか（講義のトリガー効果）を分析している
- 以上から、啓発活動の在り方についてまとめを行い今後の参考に呈したい

データ集計等

- 事前アンケートは、それぞれの回答を集計しまとめる中で課題を抽出する方法をとった
- 事後レポートは、言語情報が主体であるのでそれに基づき分析を行い、次ページのどのベクトル(行動パターン)に該当するかで、トリガー効果を測る方法をとった<これから分析にはいります>

特別講義のねらい

特別講義のねらい



高橋教授連合会総会(H260529)講演

「価値創生のためのマーケティング・コミュニケーションとその評価」資料より引用作成

特別講義の前後の流れ

- ◆事前アンケート◆(548名提出:期限内)
- H270612 講義 明大リバティール
- ◆事後レポート◆(609名提出:期限内)
- H270708 事前アンケートまとめ
- H270708 事後レポート受理
- H270716 中間報告

事前レポートのまとめ

プラスチックのイメージ像の抽出

- 下記Q1～Q3の設問の回答を集計

Q1:あなたは「プラスチック」と聞いて、どのようなことを思い浮かべますか。どのようなことでも構いませんので、思い浮かべることを3つまで上げてください

Q2:あなたは「プラスチック」に対してどのような印象をお持ちですか。該当すると思われる個所に数字の「1」を記入してください。(エクセルシートのまま集計に使います)

Q3:「プラスチック」の原料はさかのぼれば原油です。原油の何%(重量比)が使われていると思いますか。今思い描いているイメージで結構ですのでお答えください

※これまでは、学生全体でとらまえていたが、今年は男女による認識に差があるのかを探るべく全体・男子・女子別集計を行った

明大商学部学生(2011年～15年) プラスチックと聞いて思い浮かべる事柄3つの記述ベスト5

プラスチックと聞いて思い浮かべる事柄ベスト5推移(2011～2015年)

	2011年			2012年			2013年			2014年			2015年		
		件数	構成比		構成比	件数		件数	構成比		件数	構成比		件数	構成比
1	リサイクル	129	11.5	リサイクル	54	9.8	ペットボトル	166	14.8	ペットボトル	202	12.8	ペットボトル	169	10.7
2	ペットボトル	109	9.8	ペットボトル	53	9.6	リサイクル	103	9.2	リサイクル	137	8.6	リサイクル	124	7.8
3	軽い	76	6.8	軽い	50	9.1	軽い	80	7.1	軽い	120	7.6	軽い	99	6.3
4	石油を原料	56	5.0	身近なもの	41	7.5	ごみorごみの分別	45	4.0	石油or石油製品	68	4.3	石油or石油製品	74	4.7
5	ダイオキシン	38	3.4	便利	25	4.5	安い	44	3.9	ごみorごみの分別	65	4.1	ごみorごみの分別	61	3.9
	総件数		1117			550			1124			1584			1358

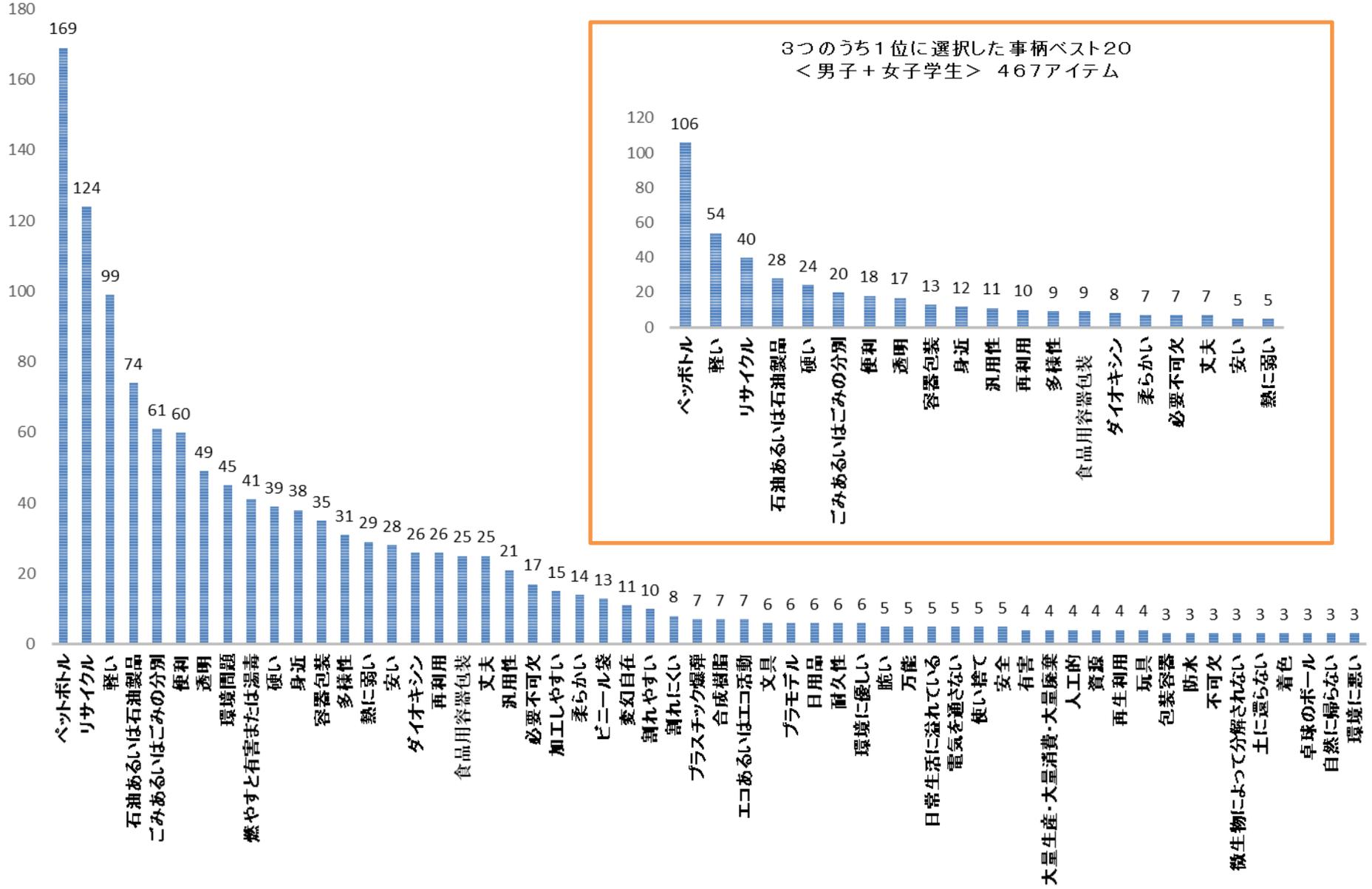
男子学生 902
女子学生 456

2015年

	男子学生		女子学生		
	件数	構成比	件数	構成比	
ペットボトル	114	12.6	ペットボトル	55	12.1
リサイクル	71	7.9	リサイクル	53	11.6
軽い	63	7.0	軽い	36	7.9
石油or石油製品	57	6.3	ごみorごみの分別	32	7.0
便利	38	4.2	透明	23	5.0
		902			456

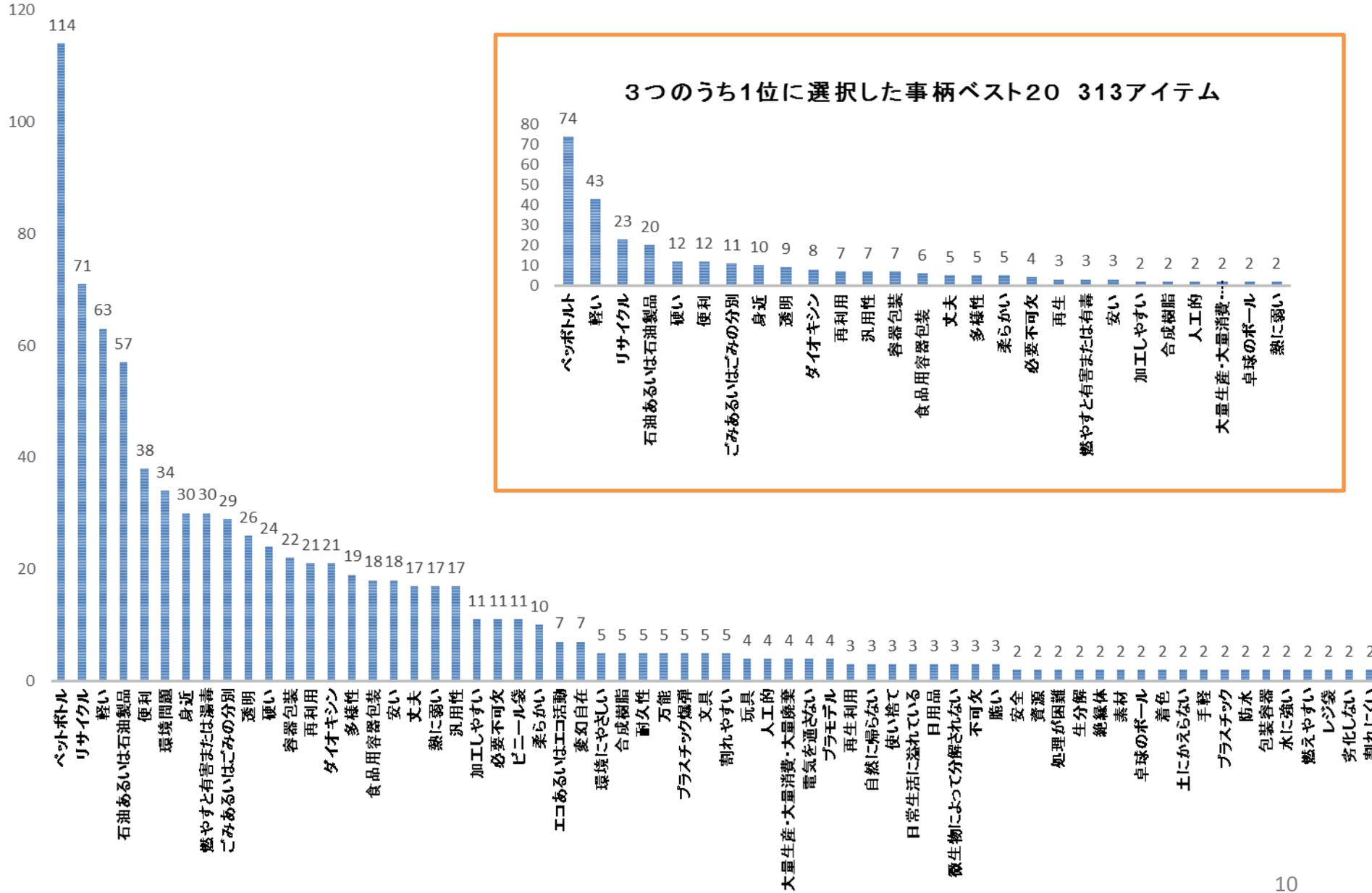
プラスチックと聞いて思い浮かべる事柄ベスト50

<男子+女子学生> 1369アイテム



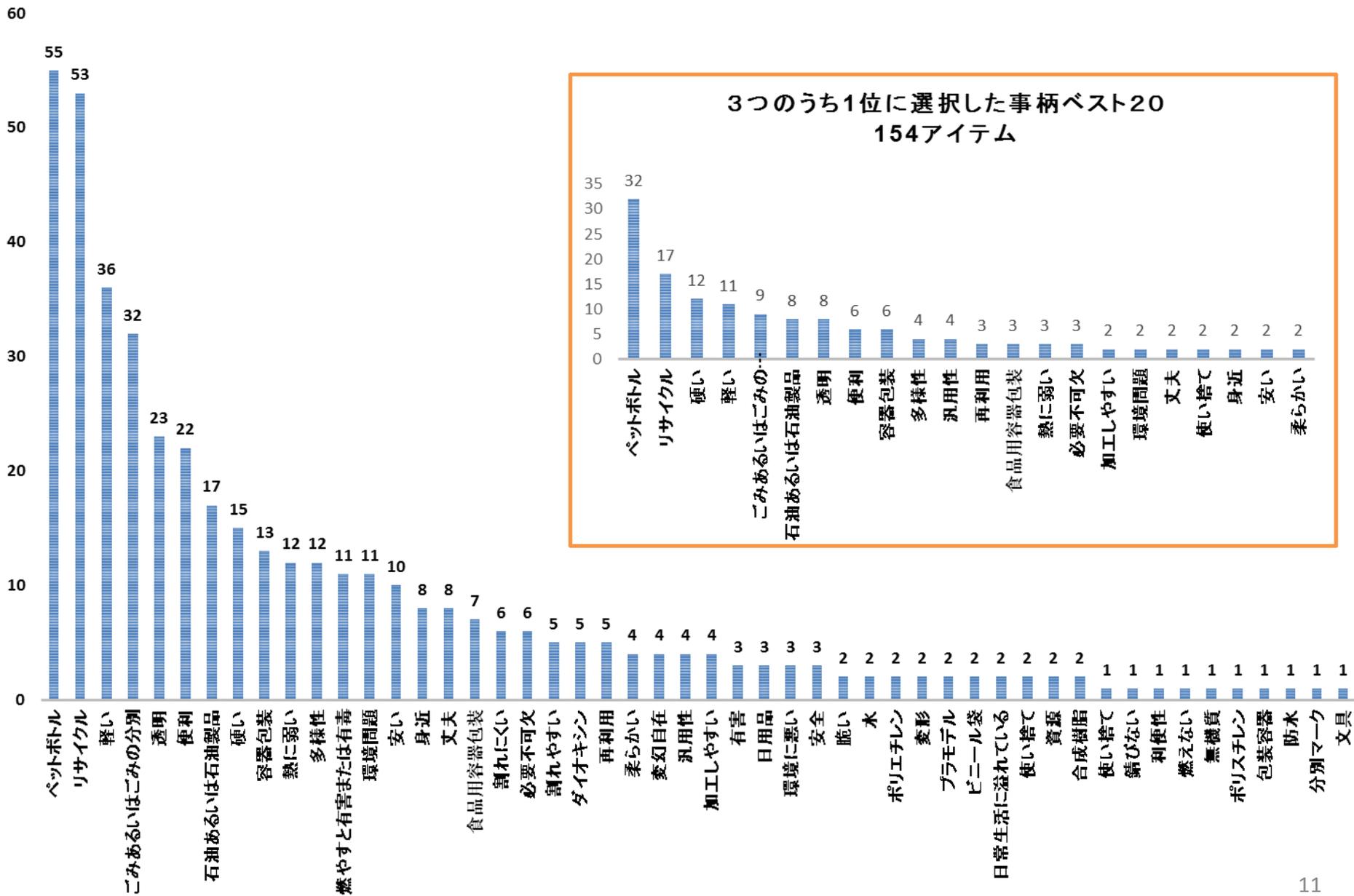
プラスチックと聞いて思い浮かべる事柄ベスト50

＜男子学生＞ 902アイテム



プラスチックと聞いて思い浮かべる事柄ベスト50

<女子学生> 406アイテム



プラスチックに対する印象の推移

(明大商学部学生2011年～2015年)

- 「プラスチックに対する印象」を13項目の質問に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかといえば言えない」「そう思わない」のいずれかに丸を付けてもらった
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足したものの構成比率は、次のとおり

プラスチックイメージ調査結果

下記の質問に対する回答「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計の構成比の推移とを2011年～14年の差異

(単位:%)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	15年-11年	15年-12年	15年-13年	15年-14年
①「プラスチック」は身近なものである	98.4	100.0	100.0	100.0	99.8	1.6	0.0	0.0	-0.2
②「プラスチック」は役に立っている	97.6	99.5	98.8	99.4	99.4	1.8	-0.1	0.6	0.0
③「プラスチック」は健康に対して安全である	26.2	29.0	29.4	31.3	30.6	5.1	2.3	1.9	-0.7
④「プラスチック」は環境にやさしいものである	20.1	19.7	21.4	22.1	19.8	2.0	2.4	0.7	-2.3
⑤「プラスチック」は原油を大量に消費している	69.3	68.9	69.3	73.7	72.0	4.4	4.8	4.4	-1.7
⑥「プラスチック」は燃やさずリサイクルすべきである	81.8	79.8	86.9	81.6	87.9	-0.2	1.8	-5.3	6.3
⑦「プラスチック」は燃やすと有害物質が出るものである	81.2	85.2	87.0	84.2	84.0	3.0	-1.0	-2.8	-0.2
⑧「プラスチック」は身近にエコ活動が実施されている分野である。	74.8	78.7	78.8	79.7	82.1	4.9	1.0	0.9	2.4
⑨「プラスチック」は日常生活に不可欠なものである	94.2	94.0	95.8	95.6	96.8	1.4	1.6	-0.2	1.2
⑩「プラスチック」はごみとなって環境を悪くしている。	49.0	48.9	53.8	52.0	57.1	3.0	3.1	-1.8	5.1
⑪「プラスチック」製容器包装はリサイクルしやすい包装設計をすべきである	88.1	85.7	88.2	84.9	87.7	-3.2	-0.8	-3.3	2.8
⑫「プラスチック」製容器包装は中味の保護に役立っている	81.2	79.7	80.3	79.8	81.9	-1.4	0.1	-0.5	2.1
⑬「プラスチック」製容器包装は手間をかけてでも分別し材料リサイクルすべきである	78.3	74.4	76.7	81.4	82.0	3.1	7.0	4.7	0.6

プラスチックイメージ調査結果②(男子学生と女子学生)

下記の質問に対する回答「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計の構成比

(単位:%)

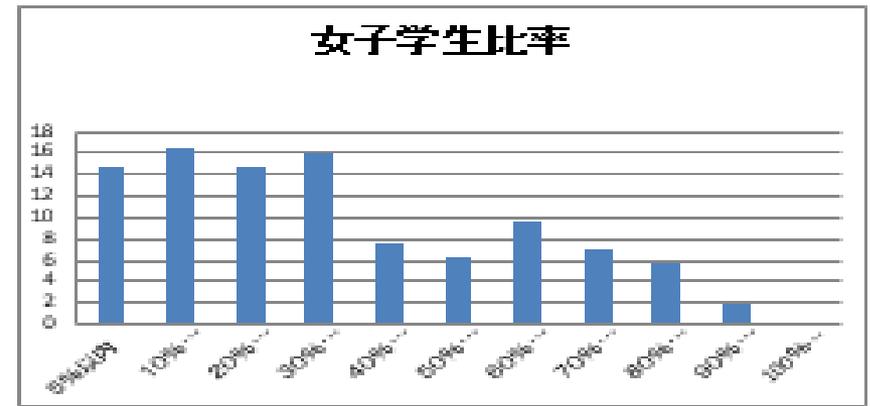
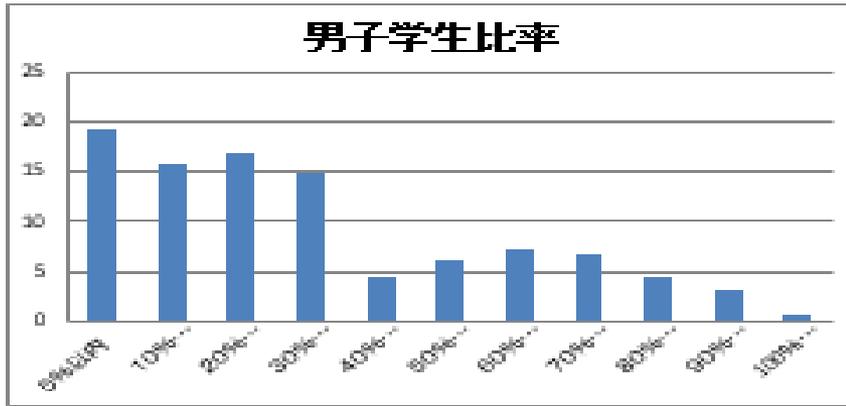
	男子	女子	男子-女子	合計
①「プラスチック」は身近なものである	100.0	99.4	0.6	99.8
②「プラスチック」は役に立っている	99.4	99.4	0.0	99.4
③「プラスチック」は健康に対して安全である	32.9	26.1	6.8	30.6
④「プラスチック」は環境にやさしいものである	21.2	17.1	4.1	19.8
⑤「プラスチック」は原油を大量に消費している	71.7	72.6	-0.9	72.0
⑥「プラスチック」は燃やさずリサイクルすべきである	89.1	85.4	3.7	87.9
⑦「プラスチック」は燃やすと有害物質が出るものである	85.6	81.0	4.6	84.0
⑧「プラスチック」は身近にエコ活動が実施されている分野である。	82.3	81.6	0.7	82.1
⑨「プラスチック」は日常生活に不可欠なものである	96.5	97.5	-1.0	96.8
⑩「プラスチック」はごみとなって環境を悪くしている。	57.1	57.0	0.1	57.1
⑪「プラスチック」製容器包装はリサイクルしやすい包装設計をすべきである	86.6	89.9	-3.3	87.7
⑫「プラスチック」製容器包装は中味の保護に役立っている	81.7	82.3	-0.6	81.9
⑬「プラスチック」製容器包装は手間をかけても分別し材料リサイクルすべきである	82.7	80.4	2.3	82.0

プラスチックの生産に原油の何%(重量比)が使われているか

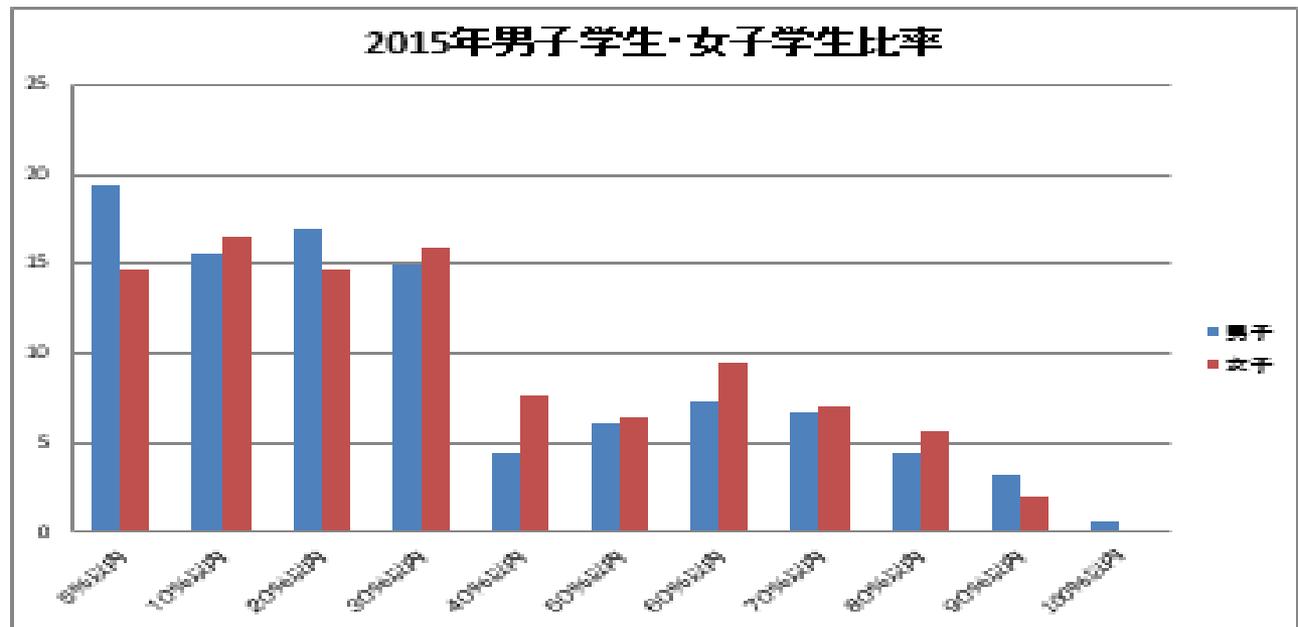
棒グラフ

平均 30.7

平均 32.7



平均 31.3



3つのキーワードから プラスチックはこのようにイメージされている(1)

①プラスチックと聞いて思い浮かべる事柄のトップは男女とも「ペットボトル」となっており、3つのうちで第1位に挙げたものも「ペットボトル」となっている。これは、下記の理由によると思われる

(1)「ペットボトル」飲料生産量は2013年は2000年の約倍になっている

(2)「ペットボトル」が飲料用に使用することが認められたのは1982年で、受講生が生まれた年は1992年前後であり、生まれてこの方「ペットボトル」が当たり前環境にあったといえる

(3)びんビール、かんビールと同様、「ペットボトルのお水」とか「ペットボトルのお茶」と言ったように「容器の材質＋中身」という呼び方が定着するほど一般化してきている

(注)プラスチック容器包装関連業界では「PETボトル」と記載するのが通例であるが、レポート等や一般的に使われている「ペットボトル」という表記をここでは採用している

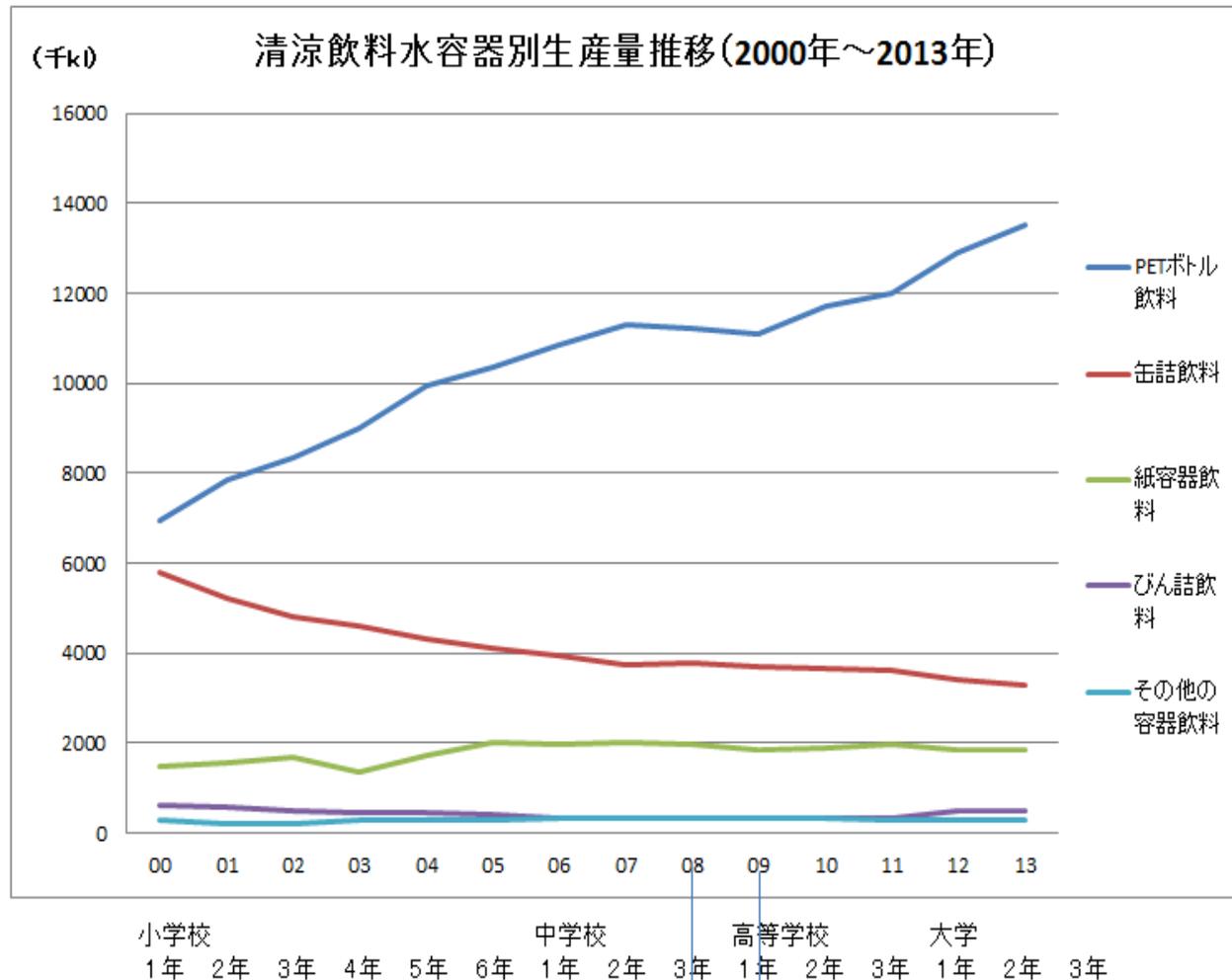
②プラスチックと聞いて思い浮かべる3つの事柄を挙げるにあたり、「軽い」「リサイクル」「硬い」「便利」「透明」「硬い」等ペットボトルから連想されるアイテムが上位にランクされている

③2011年、2012年はリサイクルがトップで、ペットボトルが2位にランクされているが、「いろはす」が2009年に市場に投入され、リサイクル意識を高めたことによるものと考えられる

(リーマンショック後の落ち込みをカバーし売上増につながり、他社も同様の容器を市場に投入、環境意識も高めたことから「いろはす効果」と呼んでもいいのでは)

以上①～③については、次ページの資料を参照されたい

【参考資料】



1982 1992 1997 1999

◆ 1982年:PETボトルが飲料用に使用することが認められた

◆ 1992年:誕生(’14年大学3年生)

◆ 1997年:大阪府豊能郡美化センター周辺で高濃度ダイオキシンが検出されたとの報道

◆ 1999年:埼玉県所沢市の野菜から高濃度ダイオキシンが検出されたとの報道

◆ 2008年:リーマンショック

◆ 2009年:「いろはす」販売開始

グラフは全国清涼飲料工業会統計資料を参照作成した

3つのキーワードから プラスチックはこのようにイメージされている(2)

- ④一方、「リサイクル」「ごみあるいはごみの分別」
「燃やすと有害または有毒」「環境問題」に代表される
ように、環境問題に関連したアイテムが上位にきて
おり、どちらかという環境によくないイメージが定着
していると思われる
- ⑤「燃やすと有害または有毒」「ダイオキシン」の2つの
アイテムを合計すると、2011年は総数に占める割合
は4.8%、'12年4.9%、'13年4.3%、'14年4.2%
となり、'15年も4.9%とベスト5にランクインすること
は注目に値する

⑥⑤については、'97年大阪府豊能郡美化センター周辺で、'99年埼玉県所沢市の野菜からいずれも高濃度ダイオキシンが検出されたとの報道があり、受講生たちの小・中学校時代に授業で取り上げられ、その後、文科系ということもあり、化学や「プラスチック」に関する授業を受けることなく今日まで至り、「プラスチックを燃やすと有害あるいは有毒」、従って、「環境に悪い」といったイメージが定着していると考えられる

(注)2013年GPN(グリーン購入ネットワーク)ガイドラインおよびエコ商品ねっとにおいてPVCを情報提供項目としないとされ、ダイオキシン問題は業界的には決着したといわれているが、⑥のような誤った知識を持ったままの学生さん等が多数いることを踏まえ啓発活動を継続していく必要性は否定できない

プラスチックに対する印象から(1)

1. ①「身近なものである」と印象は‘11年以降5年連続でほぼ100%である
②「役に立っている」‘15年99.4%、そして⑨「日常生活に不可欠」は、96.8%となっている
◆いずれも、男女差はほとんどない
2. 一方、③「健康に対して安全」という質問に対しては、全体では、30.6%とネガティブな結果となっている
◆男32.9%、女26.1%と男女差が6.8ポイントと乖離が一番大きくなっている

3. ④「環境にやさしい」については、全体で19.8%と一番ネガティブな結果となっている

◆男21.2%、女17.1%と男女差が4.1ポイントと乖離が2番目の値となっている

4. ⑤「原油を大量に消費している」に対しては、全体では72.0%となっている(今回も昨年同様、事前にプラスチックの生産に原油が重量比で何%使われていると思うかとの設問を設けていたが、全体では、加重平均は31.3%であったことからもうなずける結果となっている)

◆男女差はほとんどない

5. ⑦「燃やすと有害物質が出る」は、84.0%であり、このことが、⑥「燃やさずにリサイクルすべき」87.9%、⑬「手間をかけてでも分別し材料リサイクルすべき」82.0%、⑪「リサイクルしやすい包装設計をすべき」87.7%に結びついていると考えられる

◆⑦に関しては、男85.6%、女81.0%と男女差が4.6ポイントあり、上述2および3とは逆に、男子のネガティブ意識が上回っている

⑥、⑪、⑬に関しては、男女差が2~3ポイントあるが、ネガティブな意識からの帰結的要素を重要視すべきと考えられる

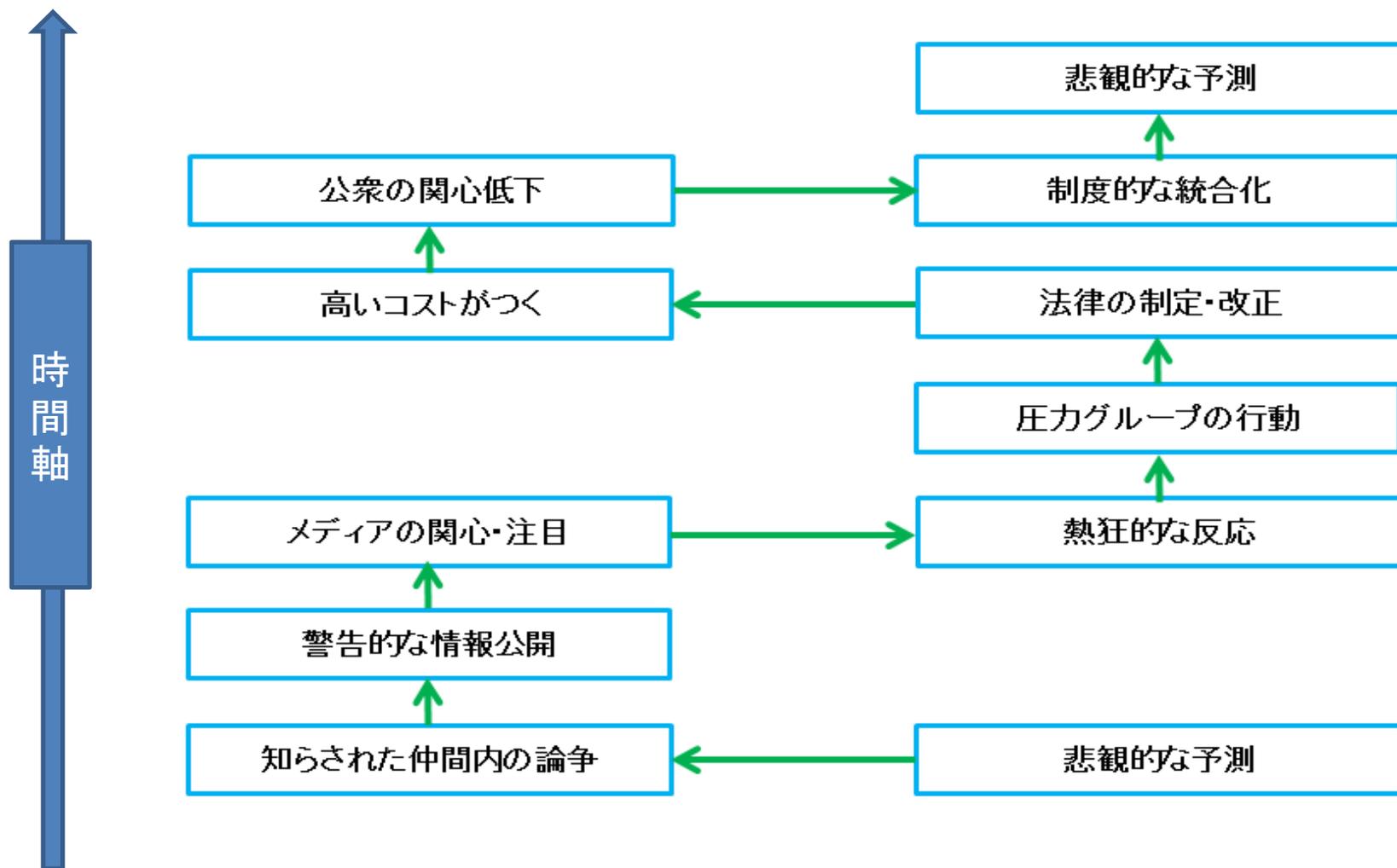
6. ⑩「ごみとなって環境を悪くしている」は、57.1%であり、
‘11年の49.1%から漸増傾向にあり、プラスチック製容器
包装比率の年々の増加や嵩比重が高いことから使用
後や街での散乱等でも目立つことから環境を悪くして
いるとの印象に結びついているものと考えられる
7. ⑧「エコ活動が実施されている」は82.1%とポジティブ
に受けとめられており、⑫「中味の保護に役立って
いる」は、81.9%とかなり支持されている結果となっ
ている
- ⑧も‘11年74.8%から漸増傾向にあり、ペットボトルの
リサイクル意識の高まりが反映しているものと思われる

プラスチックの生産に原油の何% (重量) が 使用されているか

- ① これまでは、講義の中で挙手による感度調査であったが、質問者に対する逆読みが働いていたのか、70%以上ではほとんど手が挙がらず、50,60%位が10%程度で、20,30%程度が大半を占めていた
- ② 今回の調査では、5%以内が17.9%と昨年調査より4.1ポイント上昇となっているが、加重平均は31.3%で、30%以上と答えた割合が、昨年の44.1%から9.4ポイント下がり34.7%となっている

(注) 毎年の特別授業の効果とみてよいと考えられる
このことは、啓発活動の時間軸との闘いを示唆しているといえよう

【参考資料】プラスチックには「悲観的な予測」が付きまとう



アンソニー・ダウンの「環境問題が注意を喚起するライフサイクル」のモデル
(出展:ケン・ピーティ著「グリーンマーケティング」)